

国際共同研究事業
欧州との社会科学分野における国際共同研究プログラム
(Open Research Area for the Social Sciences)
平成 29 年度実施計画書

平成 29 年 2 月 21 日

共同研究代表者

(和文)

所属機関・部局 大阪大学・大学院人間科学研究科

職・氏名 准教授・森田敦郎

(英文)

所属機関・部局 Osaka University・Graduate School of Human Sciences

職・氏名 Associate Professor・Atsuro MORITA

1. 研究課題名 (和文) デルタにおける不確実性への対処：デルタ管理における実践と知識の多様性

(英文) Deltas' dealings with uncertainty: Multiple practices and knowledges of delta governance

2. 共同研究実施期間

平成 28 年 1 月 1 日 ～ 平成 30 年 12 月 31 日 (3 年 0 ヶ月)

(注) 本計画書は、受託機関を通して電子データにて提出してください。

5. 本年度実施計画の概要

- ※ 申請書の内容を踏まえて、日本語にて記入してください。
- ※ 経費及び交流計画との関連がわかるように具体的に記入してください。

本プロジェクトにおける日本班の研究目的は、東南アジア・デルタにおける水環境管理に用いられる科学的知識、テクノロジーが開発、移転される国際的なネットワークを明らかにすることである。本年度は、このネットワークに関する調査を継続すると共に、調査の中間とりまとめを行う。

水文学・水管理の国際ネットワークに関する調査

本年度は、Casper Jensen 特任准教授がカンボジア、メコンデルタにおいて、水文モデル、環境モデルに関する技術移転プロジェクトの調査を継続する。ここでは特に、オランダ等で開発された water accounting、デンマーク水理研究所 (DHI) が開発した MIKE シリーズ水理・水文シミュレーション・モデルが、カンボジアにどのように移転されているのか、それらがメコン川の管理にいかにより用いられているのかを明らかにすることを目指す。Jensen はすでに、カンボジアで継続的なフィールドワークとインタビュー調査を行っており、本年度はそれをさらに継続する。

一方、日本側研究代表者の森田敦郎は、日本を中心にして最先端の水文観測、シミュレーション技術についての調査を行う。水文学および水環境に関する科学研究においては、リモートセンシング技術と全球気候・水文シミュレーション・モデルの発展に伴って、従来の流域ベースの観測、シミュレーションに変わって、グローバルな観測とシミュレーションに基づく研究が主流になりつつある。これらの研究は、蓄積されたリモートセンシング・ビッグデータを活用することによって従来の研究では得られないことのないタイプの知見をもたらしつつあり、デルタ管理にも影響を与えつつある。そこで、森田は、日本で継続的にこれらの水科学の学会会合などに参加すると共に、専門家へのインタビューを行い、この新たな科学的アプローチとデルタ管理の関係を明らかにする。また、8月と9月には、オランダを訪問し、オランダにおける同様の科学技術の展開を調査する予定である。

成果の中間発表

上記の継続調査に加えて、本年度は研究成果の中間とりまとめと出版を行う。現在、本プロジェクトの日本班を中心にして Society for Social Studies of Science のオープンアクセス学会誌である *Engaging Science, Technology and Society* に Amphibious Worlds と題するデルタ管理に関する特集号を投稿中である。本年度中に査読結果が通知される予定であるので、査読コメントを受けた訂正を行い年度内の出版を目指す。

また、本書と関連する研究成果として、Multiple Nature-Cultures, Diverse Anthropology と題された特集号を人類学の国際雑誌である *Social Analysis* から出版する予定である。こちらについては、本年度の冒頭に校正作業を行い、年度前半に出版される予定である。

また、日本班独自の出版物として、Jensen と森田の共著によるデルタ管理とインフラストラクチャーの未来に関する書籍を Goldsmith Press (Goldsmith, University London の出版局) より出版する予定である。本書については、本年度中に第一稿を完成させ、査読プロセスに入ることを目指す。

最終成果とりまとめに向けての準備

本年度の後半には、英蘭日仏の全調査チームが集まる合同会議を日本で開催する予定である。その場において、研究成果の最終的な出版作業の段取りを確定し、最終年度に最終的な成果発表のための作業を行う。そのため、本年度は、他の三ヶ国チームと密接に連絡を取り合い、最終成果の出版に向けての準備作業を行う予定である。

6. 本年度経費総額* 10930 千円

* 研究経費と業務委託手数料の合計を記入して下さい。

(単位：千円)

研究経費							業務委託手数料
設備備品費	消耗品費	旅費等		人件費・謝金等	その他経費	外国旅費・人件費・謝金等に係る消費税*	
		国内旅費	外国旅費				
0	54	100	450	8608	0	725	993

* 外国旅費・人件費・謝金等に係る消費税を本経費から支出しない場合は、その理由等を「外国旅費・人件費・謝金等に係る消費税」欄に記入してください。

* 委託費の上限は申請額に基づき、1,000万円/年かつ、3,000万円/全研究期間（3年間の場合）または2,000万円/全研究期間（2年間の場合）とします。

翌年度所要見込額	翌々年度所要見込額	3年度後所要見込額
8,339		

左の欄は該当する場合のみ記入してください。

(単位：千円)

* 委託費の上限は申請額に基づき、1,000万円/年かつ、3,000万円/全研究期間（3年間の場合）または2,000万円/全研究期間（2年間の場合）とします。

研究計画全体必要額
32,997

2年度目以降の場合は、前年度までの執行済額も含めて記載してください。

(単位：千円)

* 研究計画全体必要額の上限は申請書記載の額とします。

7. 設備備品費、消耗品費、人件費・謝金等、その他経費

	細目	金額 (単位：千円)	積算内訳
設備備品費			
	計	0	
消耗品費	書籍	54	水文学、科学技術論、人類学、デルタ管理に関する書籍
	計	54	
人件費・謝金等	特任准教授（1名） RA（1名・200時間）	8,328 280	JENSEN CASPER BRUUN 古川不可知 時給 1,400 円×200 時間
	計	8,608	
その他経費			
	計	0	

備考：

- ① 細目は設備備品費、消耗品費、人件費・謝金等、その他経費（「通信費（切手・電話等）」「運搬費」「印刷費」等（手引 8-8 参照）の別に記入してください。
- ② 設備備品費、消耗品費、人件費・謝金等、については、「積算内訳」の欄に品名又は人物名、単価及び数量を明記してください。

8. 交流計画

(a) 日本側参加者（代表者を含む）の国内出張計画

出張者 (氏名)	出発地 (都市名)	用務先 (都市名)	旅行期間*	用 務 (用務先・用務内容)	経費負担**
木村周平	つくば	大阪	4 月下旬 2 日間	地球科学と水文学の関 係に関する社会科学的な分 析について発表	有
森田敦郎	大阪	東京	4 月中旬 2 日間	リモートセンシングと水 文学の関係についてのイ ンタビュー調査	有

* 旅行期間の欄の記入例：「6 月頃、10 日間」

** 本経費使用予定の有無を記入すること

(b) 日本側参加者（代表者を含む）の相手国への渡航計画

出張者 (氏名)	出発地	用務先 (国名・都 市名)	旅行期間*	用 務 (用務先・用務内容)	経費負担**
森田敦郎	大阪	アムステ ルダム	8 月～9 月 30 日間	プロジェクトの進行管理 についての打ち合わせ オランダにおける水文学 とリモートセンシングの 関係についての調査	有

* 旅行期間の欄の記入例：「6 月頃、10 日間」

** 本経費使用予定の有無を記入すること

(c) 日本側参加者（代表者を含む）の相手国以外の国への渡航計画*

出張者 (氏名)	出発地	用務先 (国名・都 市名)	旅行期間**	用 務 (用務先・用務内容)	経費負担***

* 外国出張の渡航先は原則として、相手国のみを渡航先とします。ただし、当該共同研究の研究成果発表を目的とする学会等への出席や、フィールドワーク等で当該第三国へ行くことが必須である研究上の理由がある場合に限り、相手国以外の国を訪問することは可能です。

** 旅行期間の欄の記入例：「6月頃、10日間」

*** 本経費使用予定の有無を記入すること

(d) 相手国側研究者の来日計画

出張者 (国名・氏名)	用務先	旅行期間*	用 務 (用務先・用務内容)
Arthur Petersen	大阪大学	3月に5日間	プロジェクト全体会議のため
Margreet Zwartveen	大阪大学	同上	同上
Arjen Zegwaart	大阪大学	同上	同上
Jean-Philippe Venot	大阪大学	同上	同上

* 旅行期間の欄の記入例：「6月頃、10日間」